

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成 31 年 3 月 4 日
 都市名・国 東京都国立市

取組の名称	くにたち原爆・戦争体験伝承者学校講話
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	戦争体験の継承、平和意識の醸成
対象者 (年齢・学年、人数等)	市内市立小学校 8 校の 6 年生約 500 名
実施場所	各市立小学校
実施期間	平成 30 年 7 月 5 日～ 31 年 1 月 9 日 (計 8 回) ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。
<p>取組の概要 (授業、イベントはプログラムの次第を、その他 (例: コンテスト等) はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>伝承者 31 名のなかから 8 名が、市内 8 校の小学校においてそれぞれ実施した。伝承者により、当時の写真や被爆者が書いた絵をパワーポイントで映写したり、知らない土地の状況を分かりやすく伝えるために地図を使用したりするなどの工夫を取り入れ、被災の実相、原爆体験者自身の体験や平和への思いに加え、伝承者として語り継ぐ想いを子どもたちに伝えた。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>たくさんの方が命を落としたりして、とても悲しくなり、こわかった。情景を想像するだけでこわさが分かった。弟とも親とも、今まで以上に感謝しあって互いに仲良しにならなければならないとも思った。自分が実際にその場にいるような感じがした。話を聞いて、自分がどんなに幸せかを知った。亡くなった人の分まで、楽しく精一杯生きようと思った。こわがっているだけでなく、次に自分が生かせることはないか、一秒でも早く考えようと思った。この話をまた次に引き継ぎたい。</p>	
<p>成果</p> <p>伝承者が、事実と体験者の思いをそれぞれの言葉と表現で伝える「語りが持つ力」により、テレビや本で知る以上に体験者に共感し、更に事実を知って人にも伝えたい、今後絶対に戦争をしないという思いを強くした、という感想が多く見られる。学校からも高く評価され、講話の活動を開始した 29 年度から、全 8 校から継続して依頼を受けている。</p>	
<p>課題</p>	
<p>取組で使用した素材について (図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>広島・長崎の原爆資料を申請のうえ取り入れてパワーポイントで説明資料を作成して使用。</p>	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



学校講話の様子